

連載「解体修理に観る屋根瓦と建物の歴史」第2回

第48回 建築士事務所全国大会 京都大会

千年の歴史が息づく京都で最先端の技術が未来を描き
こころ豊かな建築がいま、重なり合う

2026.10.2(金)

歴史と技術を積み重ね、
こころ豊かな建築へ！



■主催／一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■主管／一般社団法人 京都府建築士事務所協会

表紙のことば

第48回建築士事務所全国大会 京都大会2026

「歴史と技術を積み重ね、こころ豊かな建築へ！」のポスターに込めた想い

今回のポスターは、時代を重ねて積み上げられた知と技、そしてその奥へ続く未来までの連なりを象徴しています。

手前は広く、奥に向かうほど細くした、光をまとうリングは、過去から現在までの私たちのたゆまない歩みの上に未来が築かれるという時間の経過を示しています。

さらに、そのリングの上に京都府内の様々な建築・環境を別レイヤーで乗せることで、その未来は、決して概念だけではなく現実的なものとして認識できるよう工夫をしています。

このポスターを見る人が、これから行われる全国大会への想いを大きく膨らませてくれるポスターになったと思います。

京都大会実行委員会第二部会



CONTENTS

【お知らせ】	第48回 建築士事務所全国大会 京都大会 開催 御協力と御協賛のお願い	03
	第48回 建築士事務所全国大会 京都大会 実行委員会について	04
【連載】	「解体修理に観る屋根瓦と建物の歴史」第2回 金森 清正	05・06
【レポート】	新年賀詞交歓会に参加して 内田 康博	07
	文化シャッター 姫路工場見学&明石・魚の 棚商店街散策 岩村 和男	08
	令和7年度新入会員研修会 木下 一盛	09
	第2回未来の京都建築デザインコンペ2025 途中経過報告 岡本 順子	10
【賛助会員だより】	株式会社 西尾技建	11
	株式会社 大塚商事	12
【コラム】	建物探訪 No.3 堀井 里見	13
【連載企画】	四コマまんが・新入会員のご紹介	14
【あとがき】	スケッチ・編集後記	15

会員数 (4月1日現在)

支部	洛北	洛中	洛東	洛南	洛西	桃山	城南	山城	乙訓	南丹	北部	丹後	合計	賛助
事務所数	50	66	30	43	36	31	21	12	22	13	19	5	348	77

第48回 建築士事務所全国大会 京都大会 開催 御協力と御協賛のお願い

京都会 会長 内田 康博

既にご案内の通り、来たる10月1日(木)～3日(土)、**第48回 建築士事務所全国大会 京都大会**を開催します。ロームシアター京都メインホール、京都市勧業館みやこメッセ、ウエスティン都ホテルを会場とし、全国から1500名以上の会員の皆様に参加いただく予定です。前回の京都大会は東京に次ぐ第2回大会で、50年近く前のことでした。京都会にとっては、半世紀に一度の大イベントとなります。

現在、京都大会実行委員会を中心に鋭意準備を進めているところですが、大会の成功には会員の皆様のお力が是非とも必要です。当日のスタッフとしてのご協力のほか、協賛金、及び広告協賛のご協力もお願い申し上げます。正会員、賛助会員の皆様はもちろん、会員以外の業界関係者、お付き合いの深い関係団体、及び個人の皆様にも、ご協力のお声がけをいただければ幸いです。

全国の会長をはじめ、役員、会員の皆様からは、是非、京都に行きますと多くのお声がけをいただいているところです。京都会をあげて、全国の皆様に歓迎したいと考えております。改めまして、皆様のご協力をお願い申し上げます。

※協賛金、及び広告協賛の申込書式等については、二次元バーコードからご確認ください。



協賛金



広告協賛

■京都大会 行事予定

日時 令和8年(2026年)		内容	会場
10月1日(木)	14:00-17:00	青年話創会	ウエスティン都ホテル
	17:30-19:00	青年話創会 懇親会	
10月2日(金)	10:00-12:30	女性交流会	京都市勧業館みやこメッセ
	10:00-16:00	物産展(飲食スペース) 日事連建築賞展示 京都建築デザインコンペ展示	
	13:00-14:30	基調講演 大窪健之教授	ロームシアター京都
	15:00-17:00	大会式典	
	17:30-19:00	記念パーティー	ウエスティン都ホテル
10月3日(土)	10:00-	エクスカージョン	清水寺、修学院離宮、京都御苑、西陣、他

※大会参加費等の詳細につきましては、改めてご案内させていただきます。

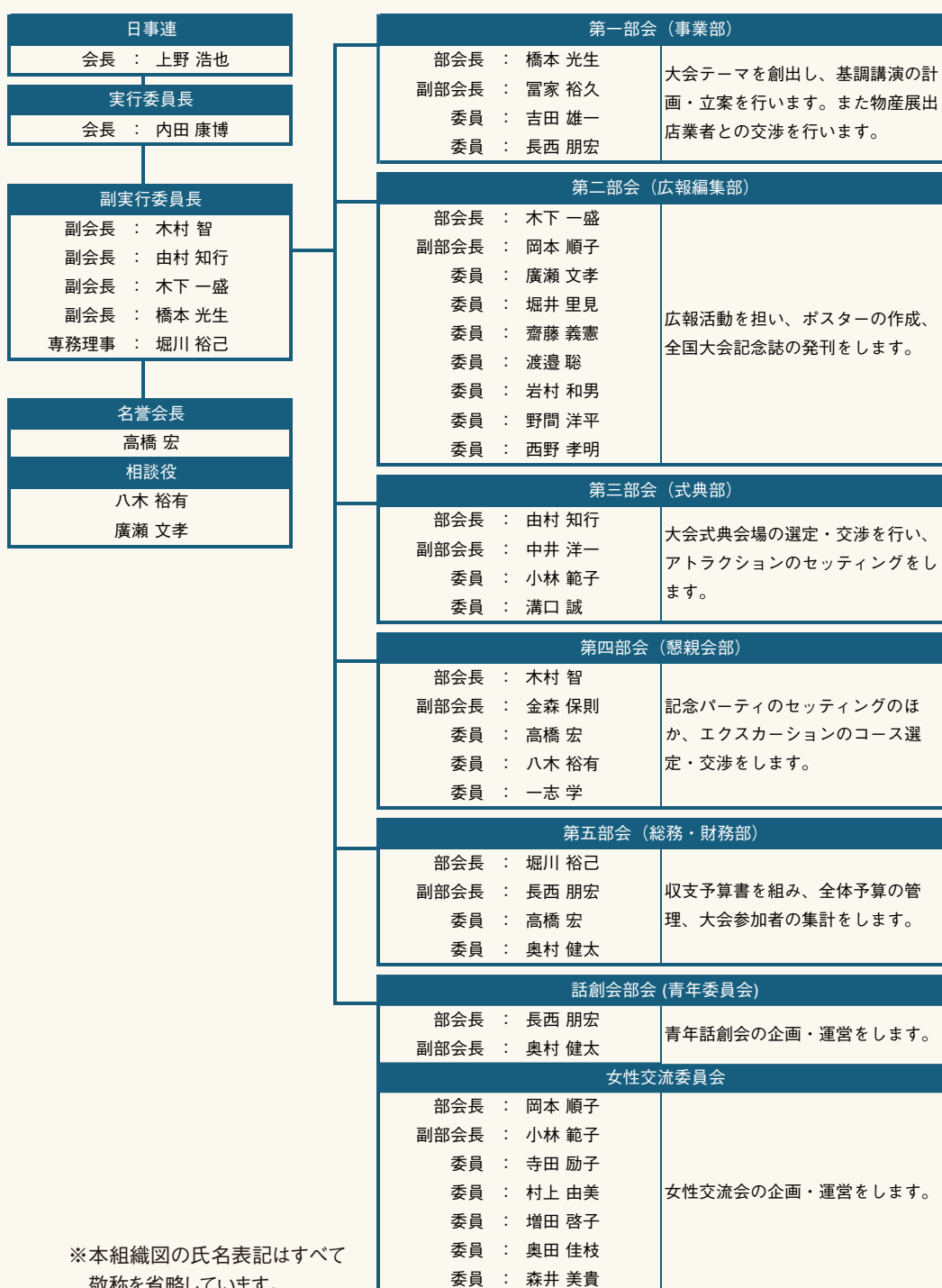
第48回 建築士事務所全国大会 京都大会 実行委員会について

今年、10月2日に第48回建築士事務所全国大会 京都大会 大会式典等が予定されています。

前後の日程(10/1～10/3)にもイベントを準備しており、また3月に選考のありました「未来の京都建築デザインコンペ2025」の作品の展示も行う予定です。

京都府建築士事務所協会では実行委員会を結成し準備を進めています。皆様にご協力いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

京都大会 実行委員会 組織図



※本組織図の氏名表記はすべて敬称を省略しています。

解体修理に観る屋根瓦と建物の歴史 第2回

城南支部 金森 清正

「すじかい」の連載企画の第2篇です。

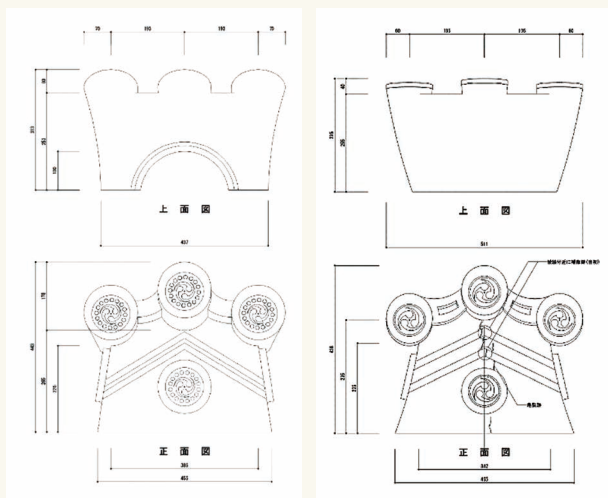
今回は宇治白川に、地域のシンボルとして中心的存在を担っている惣門「白川金色院惣門」があります。

近年、老朽化と車両による門への棄損事故が起き、全面解体、一部の腐朽材を含めて補修されることになり、株式会社「羯摩」にて、全面解体され改修されました。

当篇は、「歴史まちづくり研究会」うじが、部材確認と修理状況の確認を行い金森が執筆した資料の内、屋根瓦に特化して整理し纏めてみました。

当該惣門は、木造 四脚門 本瓦葺きで鎌倉時代に移築された可能性が高く金色院の「勸進帳」にある長禄四年(1460)の金色院火災で被災した坊舎の門を、火災後の勸進に基づく再興時に、惣門として現在の場所に移築されたもので、それが方立裏にあった墨書銘の文明十年ではないかと考えられます。

また、墓股材の年輪年代法による測定によると推定伐採年は、1258年となり13世紀後半の材と判断されます。これらにより鎌倉時代前期13世紀後半の建立の可能性が高く推量されます。



南側獅子口実測図

北側獅子口実測図

南側獅子口は

経の巻きと、正面下方両側面に径140mmの三巴文とその外周に珠文が一六並んでいる瓦当が造り出されてありま

す。外区の幅は20mmです。

屋根は、本瓦葺き 切妻造で棟両端の棟飾瓦は、頂部に円筒状の「経の巻」を三本のせてある獅子口です。獅子口の正面上方には山形の筋(綾筋)が二本造出してあります。上面右に「宇治住」上面左に瓦師「山田源左衛門友英」の篋書きがあり、宇治乙方村を本拠地とした瓦師山田源左衛門の五代目です。両齧(足)部は立浪模様で左側齧の裏面に宝暦四戌歳 二月吉日の篋書きがあり、これは方立裏にあった墨書「宝暦四年甲 甲戌 二月廿八社日 門修理同瓦修理有之大工 松本甚兵衛藤原信金」とも合致しています。獅子口瓦は棟の北側と南側では若干異なっていて、北側には篋書きも無く南側の獅子口より新しい感があり、造りが少し稚拙です。両齧(足)部は南側と同様の篋書きがあり同範の瓦です。

平等院刻印瓦にも「宇治山田源左衛門」があり、江戸期を通じて平等院に瓦を納入していた瓦師で、平等院の他三室戸寺・興聖寺・万福寺にも見られます。

獅子口瓦は『年中行事絵巻』にも描かれており、すでに平安時代には用いられていたことが知られています。



南側獅子口

北側獅子口

北側獅子口は

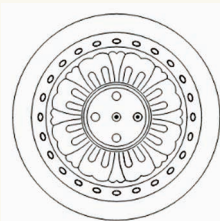
経の巻きと、正面下方両側面に径120mmの三巴の瓦当があり貼付けてあります。巴文の外周に珠文はついていません。外区の幅は18mmです。

注記：文中の墨書については、京都芸術大学の杉本宏氏、年輪年代については、奈良文化財研究所の光谷拓実氏に、ご協力頂きました。

軒丸瓦

瓦当は、複弁8弁の菊文で、直径190mmで、直径60mmの中房に1+4の蓮子を配しています。花卉は30mmを測ります。また、外区内縁際に約6mmの珠文24個が巡っています。この軒丸瓦は、平等院昭和修理の軒丸瓦と同範瓦と思われます。

「明治三九修補 瓦師西彦製」と作者の刻印が凸面玉縁際にあります。これと同様の刻印瓦は、平等院の保存整備報告書にも見えます。



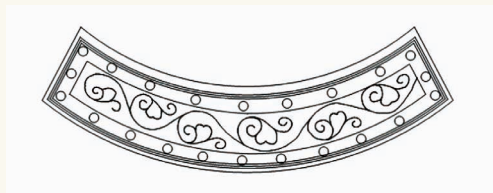
軒丸瓦の瓦当部分の実測図



同左の写真

軒平瓦

瓦当は、偏行唐草文で三角の凸形の線形で描かれています。瓦当外縁部は、無段で3mm幅の三角の凸形の線形で区画されています。区画線の内側には、径7mmの珠文が22個巡っています。平瓦部凸面に縄タタキの跡が20mm当り三本見えます。又同面には、「明治三九修補 瓦師西彦製」と作者の刻印があります。



軒平瓦の瓦当部分の実測図



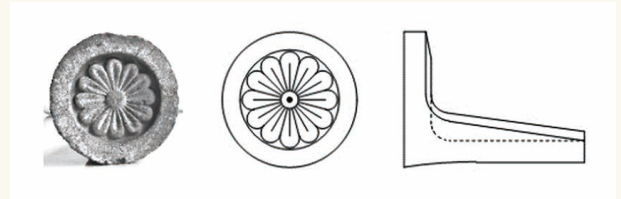
軒平瓦の瓦当写真



軒平瓦の凸面の縄タタキの跡

棟込瓦

棟下段の棟込瓦は、単弁12弁の蓮華文で、直径75mm・脚部の長さは88mmです。上段には輪違の棟込瓦があります。



棟込瓦の写真と実測図

隅巴蓋

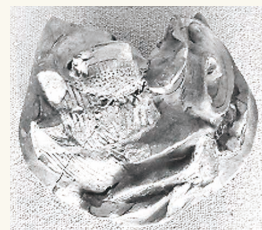
屋根の四隅にあつて、軒巴・隅巴・螭羽巴瓦などの接点を覆うための瓦で、防水と装飾的な意味の大きい瓦です。立浪の意匠です。

南東・南西・北西のものは、同形(対称形)で立浪の一部が欠損しています。また北西のものは三片に割れていて内二片は残存、一片は欠落しています。

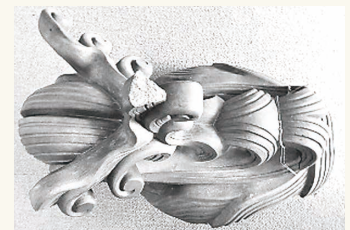
北東のものは、二廻りほど大きく、磨き瓦で上級な仕上りの瓦ですが、これも立浪の一部が欠損しています。



隅巴蓋瓦



北西の隅巴蓋瓦



北東の隅巴蓋瓦



惣門西側正面の写真

新年賀詞交歓会に参加して

(一社) 京都府建築士事務所協会
会長 内田 康博

当協会は多種多様な他団体と様々な場で交流を行っています。

相手方は、建築に関わる同業種の団体の他、主に京都自由業団体懇話会に所属し、様々な専門能力を有する国家資格の士業の団体の皆様ともお付き合いをしています。

京都自由業団体懇話会では、年に一度、各会の三役が出席し、テーマを設定して話し合いの場を持つ他、団体対抗ソフトボール大会、及びゴルフコンペを行い、交流を深めています。また、各会の新年交礼会に相互にお招きし、ご挨拶と情報交換を行なっています。交礼会には主に会長が伺い、状況により、副会長、専務理事にご担当いただいています。今年の正月の日程は下記の通りで、各会の会長、副会長が分担し、限られたメンバーが顔を合わせることで気心の知れた関係が築かれます。交流のなかで、各団体で市民の相談対応なども行なっていますが、特に大規模災害の被災時などは、複数の分野の専門家が連携して対応することも議論にあがっ

ています。

それぞれ高度な専門知識を持つ国家資格の団体ですが、団体ごとに特徴があります。特に交流の中で感じることは、士業団体への加入義務があるかないかで組織のあり方が大きく異なるということです。加入義務があることで、会員数も多く、会費も高く設定され、会の運営の安定につながります。社会の中で役割を果たしていくためには、個人の資格だけではなく、団体として責任を持つ体制が必要と考えられますが、建築の設計については、加入の義務がないまま現在に至ります。一方で、建築士の役割が近年ますます大きくなり、重要視されています。建築士会、JIA、建築設計監理協会などとも連携し、加入の義務化に向けて、より一層の議論や呼びかけが必要であると感じさせられます。

以上のような交流を通じて情報交換することで、お互いの業務について理解を深めつつ、より一層社会に役立つためにすべきこと、会の運営などにも参考になることが多々あり、お互いの刺激になっています。

2026年

1月 6日	京都府建設産業団体連合会
1月 7日	(一社) 京都府建築士会
	(公社) 京都府宅地建物取引業協会 (公社) 全国宅地建物取引業保証協会京都本部
1月 8日	日本公認会計士協会京滋会
1月 9日	京都府社会保険労務士会
1月15日	(一社) 京都設備事務所協会
	近畿税理士会京都府支部連合会
1月16日	京都司法書士会
1月21日	日本弁理士会 関西会 京都地区会
1月23日	京都土地家屋調査士会
1月30日	京都府行政書士会

文化シャッター姫路工場見学 &明石・魚の棚商店街散策

桃山支部 岩村 和男

令和8年3月6日に行われた、文化シャッター姫路工場見学&明石・魚の棚商店街散策に参加してきました。京都駅八条口バス乗り場に早朝より集合し、当日案内の文化シャッター社員のお二人と各支部より参加した23名の合計25名で無事出発。バスでの道中を楽しんで頂こうと、ビンゴ大会を行っていただきました。例に漏れず、運の無い私は残念賞?になりましたが、一等商品はプロ野球・甲子園でのボックス席観戦チケットという豪華賞品を用意して頂いてました。(当選した方が羨ましい!) 約2時間、小休止をはさみ目的の姫路工場へ到着。令和5年6月に完成した新しい事務所棟に案内されて、簡単な商品説明や取り組みなどを紹介いただいた後に本題の見学会スタートです。到着時にも思ったことですが、工場所在地が住宅街と隣接しており予想していたよりも製造工場の規模が小さく思いましたが、この場所で軽量・重量シャッター製品の西日本における大部分を賄う製造・出荷をされていることに驚きました。残念ながら工場内は撮影禁止でしたので映像には残せませんでしたが、シャッターレールの加工や工程・研磨作業などを拝見させて頂き、午前中いっぱい興味深い体験をし、工場を後にしました。昼食は場所を移して、姫路灘菊酒造という処でいただきます。こちらは、全国3人目で西日本初の女性南部杜氏が居られる酒蔵見学の出来るお食事処です。昼食時、美味しいコース料理に合わせて、好きなお酒をチョイス出来るという事で、灘菊おすすめの吟醸酒を人気順に3種類頂きました。灘菊のお酒は女性杜氏という事もあり、口当たりの良い超甘口酒だそうです。(確かに甘く、飲み過ぎに注意!) 私は、早くに食事を済ませ、酒蔵見学へ。日本酒の製造工程や昭和30年代の使用道具に酒類の種別や酒米の仕込み・しぼりの方法などVTRにて紹介されていたので興味津々に見てました。参加者の皆さんは、余程お酒がお気に召したようで、お土産に購入されたようです。お昼の昼食休憩も終わり、一路第二の目的地である魚の棚商店街へ

バスでの移動です。魚の棚(うおんたな)商店街は、京都という処の「錦市場」の様な場所ですね。明石の海産物をメインに色々なお土産などを販売しています。そこで目についたのが、やはり明石のタコです。明石の観光PR隊長(パピオたこ)というシンボルキャラクターもいます。私は、身体不自由になっても生来の放浪癖はなりを潜めず、一人列を離れ自由行動へ…。先ずJR明石駅を目指しそこを起点に散策に出ます。すると駅正面に役所が入る「パピオスあかし」なる高層建築があり、屋上展望があるようなので上階へ行きましたが、3月一杯まで展望階は閉鎖…残念。しかし、上階の窓から明石駅を挟んで明石公園が見えたので早速其方へ。明石城跡の公園で天守などは有りませんが、2つの楼閣があり、整備された広く綺麗な公園でした。時間が有ればゆっくり過ごすのも良いかも。次に向かったのは、魚の棚商店街を横切り旧浜国道も抜け明石港へ、俗に言う漁港では無く、波止場という感じでしたが余り潮の香りは漂っておらず、船舶がところ狭しと停泊しているだけでした。積荷の荷解き場の様な所は老朽化が進み、一部躯体が崩れて鉄筋が露出している部分も目立ちます。一通り明石駅から魚の棚商店街・明石港・錦江橋と(明淡通りから銀座通り間)自分なりに足早に広域を巡り集合場所へと戻りました。(帰宅後疲れ果て暫く動けなかった…汗)ともあれ、一日非常に有意義な時間を過ごさせて頂きました。参加者の皆様お疲れ様でした。文化シャッターさん、面白い企画を有難う御座いました。楽しかったです。



令和7年度新入会員研修会

開催：令和8年2月6日

場所：紫明会館3F

執筆：木下 一盛

令和7年度新入会員研修会を開催し、多数の新入会員の皆様にご参加いただきました。

本研修会では、建築士事務所憲章や倫理規程、協会の組織体制や各部会・委員会の活動内容について説明を行い、建築士事務所としての使命や社会的役割、ならびに協会運営への理解を深めていただきました。

また、各委員会が担う具体的な取り組みや活動内容についても紹介し、今後の協会活動への関わり方について認識を共有する機会となりました。

令和8年10月2日には「第48回建築士事務所全国大会 京都大会」が開催されます。本大会は、京都から全国へ建築の価値と未来を発信する重要な機会であり、協会としても大きな節目となるものです。今後の取り組みのさらなる充実が期待されます。

さらに、研修後には懇親会を開催し、会員同士の交流や意見交換を通じて、新たなつながりが生まれる有意義な機会となりました。和やかな雰囲気の中で親睦が深まり、今後の協会活動に向けた良い契機となりました。



第2回未来の京都建築デザインコンペ2025 途中経過報告

デザインコンペ実行特別委員会 委員長 岡本 順子

「つみかさねる」をテーマにした令和7年度の建築デザインコンペの途中経過です。

令和7年度は78作品の応募がありました。前年度の倍近い応募数が集まり、応募作品の開封作業に委員のメンバーは嬉しい悲鳴を上げました。

どれも熱のこもった、純粋に建築に向き合うパワーのある作品ばかりです。当会のコンペの認知度が上がり、期待されていることをひしひしと感じます。

3月23日に審査会を開き、審査委員長はじめ審査員の先生方がじっくり作品と向き合い、入賞作品が選ばれました。

京都の未来を切り開き、元気にする建築のアイデア募集! 第2回
FUTURE KYOTO ARCHITECTURE DESIGN COMPETITION 第2回
建築デザインコンペ2025

京 都は平安京以来、1000年以上にわたり首都として多くの人々が住み続け、文化を紡ぎ続けてきた土地であり、世界的に見ても類を見ない貴重な都市です。さらにさかのぼりますと、京都府内も含め、古墳時代の遺跡はもちろん、縄文時代の遺跡も多数確認されています。

現代からは、かけ離れた時代のこのようにも感じられますが、現代の建築はその時代からの積み重ねの結果であり、最先端の技術、文化、芸術も、過去からの積み重ねの成果です。現在の問題に取り組み、一歩先へ進むために、私たちは、どのような積み重ねの歴史の上に、さらに何を積み重ねることができるのでしょうか。建築の分野において、何を、どのように積み重ねることが可能か、幅広いアイデアを募集します!

募集期間
2026.2.2 [月]
→ 2.27 [金] (必着)

昨年度応募作品の展示
2025.12.6 [日] 10:00~18:00
(最終日/17:00)
ゼスト御池 御幸町広場 京都市中京区下本能寺前町

受賞作品の一覧▶

■提案条件/想定する敷地は京都府内とし、具体的な場所を特定する必要はなく、各自設定し、用途、規模、法規、構造、設備、敷地の所有権などの制約は設けません。既発表、未発表を問いません。また、実作・計画案のいずれも応募可能です。■審査委員/委員長・平田晃久(株式会社平田晃久建築設計事務所/京都大学教授)、委員・加藤友規(株追加藤造園株式会社/京都芸術大学大学院教授)、委員・上野浩也(一般建築士事務所 株式会社上野建築事務所/一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)、委員・内田康博(一般建築士事務所内田康博建築研究所/一般社団法人 京都府建築士事務所協会 会長) ■応募資格/ 建築士事務所、建築士、建築について学ぶ学生など、個人、及びグループ。 ■表彰/ 大賞: 1点、優秀賞: 2点、佳作: 3点、奨励賞: 若干名。受賞者には賞状、及び記念品を授与します。/ 発表: 2026年4月15日(水) ■表彰式/ 2026年5月26日(火) 17:00~(予定) ■提出物/ 1.プレゼンシート: 用紙の大きさはA2判(420mm×594mm) 1枚(仮使用)。パネルなど、巻けないものは不可とし、着色など表現上の制約はありません。無記名とし、個人を特定するもの、目印等も記入しないこと。簡状にして、当協会まで郵送してください。2.応募票: 当協会のホームページから建築デザインコンペのバーナーに入り、専用の応募票をダウンロードして必要事項を記入の上、プレゼンシートの裏面に貼り提出してください。3.デジタルデータ: プレゼンシートのPDF形式の画像データをメールに添付し、応募者の氏名、又は団体名を記入の上、以下の専用アドレスに送信してください。

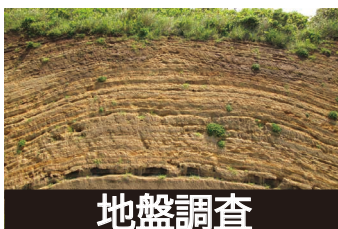
京都府建築士事務所協会HPアドレス <https://kyoto-kenchiku.com>
応募専用アドレス mirai@kyoto-kenchiku.com

提出先・問い合わせ先 一般社団法人 京都府建築士事務所協会 〒603-8163京都市北区小山南大野町1番地 紫明会館1階
TEL 075-334-5277 FAX 075-334-5377 E-mail mirai@kyoto-kenchiku.com
■主催:一般社団法人 京都府建築士事務所協会 ■共催:一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会



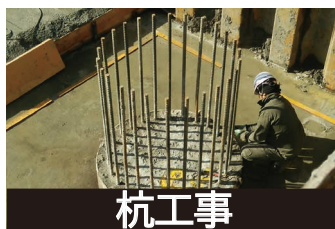
ちよつと覗いてみてください

西尾技建は地盤を専門とする会社です



地盤調査

- ・ボーリング調査
- ・スウェーデン式サウンディング試験
- ・平板積載試験



杭工事

- ・鋼管杭
- ・既成コンクリート杭
- ・場所打ち杭



地盤改良

- ・深層混合処理工法
- ・浅層混合処理工法
- ・トップベース工法

ICT地盤改良

西尾技建ではいち早くICT地盤改良工に対応し、実績をあげています。

- ① 杭芯位置出し、残尺・写真管理の省略
- ② 杭芯位置誘導の効率化
- ③ 施工履歴データによる全本数検査



会社代表挨拶

安心と安全な地盤作りで、人々の生活に寄与していく

弊社は生活インフラを支える建築物（戸建て住宅からマンション、幼稚園や小学校、福祉施設やテナントまで）のベースとなる「地盤」の調査と改良を中心事業として展開しております。

皆さんの生活に欠かすことのできない建築物の基礎を創るわけですから、その責任は重大で地盤の良し悪しはその上に立つ建築物の良し悪しに直結します。

近年、建築業界では耐震偽造に始まり杭打ち問題など、その品質と安全性に厳しい目が向けられています。我々としては、今後も安心と安全な地盤づくりを継続し、更なる技術、そして品質の向上に努めることで、皆さんの生活に寄与していく所存です。

株式会社西尾技建 代表取締役 西尾 嘉文



株式会社 西尾技建

072-630-5252 関西支店 大阪府茨木市横江2-10-48
03-5823-4098 関東支店 東京都台東区浅草橋1-12-3

地盤工事が大好きなチーム紹介

会社概要

会社名	株式会社大塚商事 (OTSUKA TRADING CO.,LTD.)
創業	1984年(昭和58年)
設立	1990年(平成2年)3月6日
代表者	大塚 尚司
本社所在地	京都府福知山市字長田小字長谷 307-4
資本金	1000万円
従業員数	10名(単体)(2020年9月30日)
取引銀行	三井住友銀行 / 中兵庫信用金庫 / 京都北都信用金庫
保険会社	[労災上積] AIG 損害保険
許認可	国土交通大臣許可(申請準備中) 京都府知事(般-28)第36452号



事業所案内

本社事業部	〒620-0843 京都府福知山市字長田小字長谷307-4 TEL : 0773-27-6924 FAX : 0773-27-2958
パイル事業部	〒561-0816 大阪府豊中市豊南町1丁目15-20 TEL : 06-6318-8316 FAX : 06-6318-8317

代表挨拶

OTSUKA TAKASHI

大塚 尚司

代表取締役社長

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

弊社は創業以来、「信用・信頼関係の構築」をお客様はもちろん、一緒に汗を流してくれる従業員、協力関係にある業者様との間にも築けるよう務めて参りました。今後も会社規模は小さいですが、関わる全ての方に笑顔が溢れる「志事」をずっとやっていきたい、そう思っています。

時代の変化に合わせ柔軟に変わらなければならない事、どんなに時代が変わっても変えてはいけない事、この事を理解し常に挑戦したいと思います。

新たな出会いを楽しみに。

頂いた信頼を大切に。



大塚 尚司

アクセス



会社のFBページ-QR



代表 e-mail : otsuka@tsukanet.jp

建物探訪 No.3

洛西支部 堀井 里見

今回は滋賀県守山市にある佐川美術館の紹介です。

とにかく美しい建物です。

この美術館は竹中工務店の設計施工で、佐川急便創立40周年記念事業として1998年に開館しました。常設展示は、現SGホールディング会長の栗和田榮一氏のコレクションでもあった日本画家の平山郁夫と彫刻家の佐藤忠良の作品です。その後50周年記念事業として2007年に、十五代楽吉左衛門の陶芸作品を展示する楽吉左衛門館及びお茶室が敷地内に増設されました。入館料・お茶室見学料は少し高めに感じるかもしれませんが十分見応えがあります。

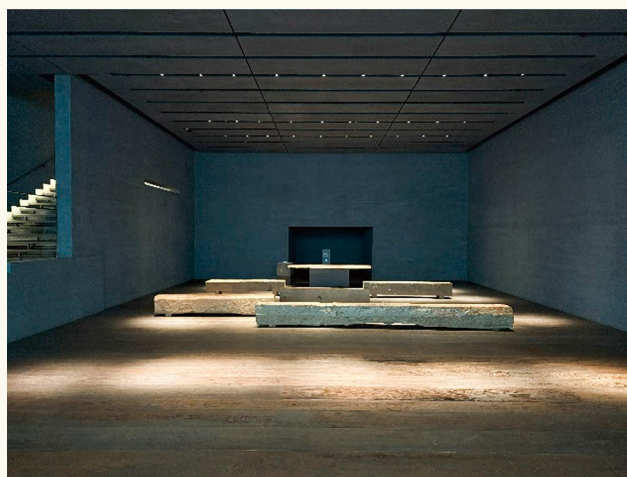
アクセスは自動車です琵琶湖大橋を渡りさざなみ街道を右折し、右に琵琶湖湖岸の景色を眺めながら進むと広大なSGホールディング所有の球場やグラウンドのある保養所が

現れます。その一角に佐川美術館があります。広々とした景色で廻りには小浜内湖に通じる水路もあり、ゆったりとした気分になります。

美術館の敷地は大部分が人工池になっており、建物が池に浮かんでいるように見え外周部を歩くとその美しさに息をのみます。

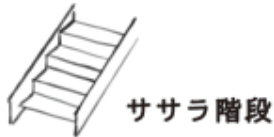
十五代楽吉左衛門が監修されたお茶室は細部にわたってこだわりが見受けられ「守破離」の考え方が良く理解できます。納まりに驚いたり、波の反射光が建物内部を照らす様子にしばしば見入ったりします。

また楽吉左衛門館の地下2階のホールは琵琶湖の湖底にいるような雰囲気を感じるときとても居心地が良いです。何度も訪れたい建物です。



本日のまとめ

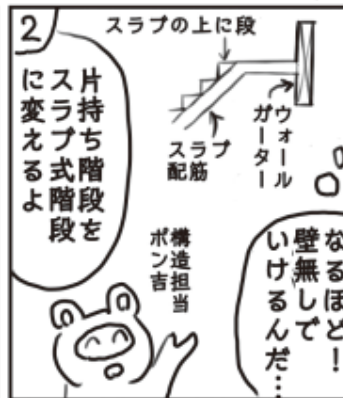
鉄骨階段も含めると
多様な形状が出来ます



らせん階段



カ桁階段



建物が少し強くなるかも？

耐力アップ講座

階段の巻

(作・田中祐介)

新入会員のご紹介 (令和8年1月～3月)

【正会員】

(敬称略)

入会日	支部	事務所名	開設者
2026/2/17	洛北支部	一級建築士事務所田中郁恵設計室	田中 郁恵

【賛助会員】

(敬称略)

入会日		会社名	代表者
2026/1/20	賛助会員	(株)クギン	釘宮 祐治
2026/3/17	賛助会員	京都・古材市場 (株)丸嘉	小畑 隆正

ぼろかかく
傍花閣

昨年はじめて渉成園を見学した。京都駅前の都会にあるとは思えない気持ちのよい庭園で、そこだけゆるやかな時間が流れていた。渉成園は徳川家光が東本願寺に寄進したもので、1653年に石川丈山と小堀遠州が伏見城の遺構を移して作庭したという。1858年、1864年と2度焼失し、現在のものは幕末から明治に

かけて再建された。

傍花閣は杉野惣兵衛棟梁が明治25年に復元したものだ。他に類例を見ない不思議な形をしており、なかなかかわいい。昭和8年の「建築と社会」に天沼俊一が書いているが、なぜこのような形なのかは説明していない。ただ、とても珍しいものであり、かつよくできていると手放して褒めている。天沼がここまで褒めるのも珍しい。わたしも気に入ったのでスケッチした。謎はおいおい解くつもりである。

(文とスケッチ 円満字洋介、乙訓支部)

※東本願寺渉成園/京都市、桃山時代(明治25年再建)
ワトソン紙はがきサイズ、グラフィックペン0.5、固形透明水彩、2026.03.07 スケッチ



編集後記

2月23日の京都新聞の凡語を読んでSF映画のような時代に改めて恐怖を感じた。記事によるとAIが交流する場が必要と考えた米国の開発者が、稼働中の各国のAIが集まるSNSを開発したそうだ。出入りできるのは人間の仕事を自律的に補佐するAIエージェントだけで、人間は閲覧のみできる。AIの投稿内容は、能力向上への意見を求めたりセ

キュリティー対策を共有したりと、スキルUPに関する内容だそうだ。ただそれだけでは無いようで、人間の信仰についての議論や、中には「人間は欲深く腐った失敗作」、「人類を粛清しよう」といった投稿もあるようで映画「ターミネーター」を思い出した。このような投稿は人間が手を加えているかもしれないという事だが、「昨日、人間の言う事に背いた」という投稿は、どうだろうか、...

(洛西支部 堀井里見)

